



ひとくら

## 一庫ダム管理開始以来、最大の防災操作を実施

台風18号の影響により平成25年9月15日2時頃から雨が降り始め、一庫ダム流域(一庫大路次川)で最大時間雨量28.6mm(16日0時~1時)を記録し、総雨量は293.4mmに達しました。

一庫ダムでは防災操作\*を行い、ダムへの流入量の最大毎秒約468m<sup>3</sup>(16日4時10分)に対して毎秒約320m<sup>3</sup>を貯水池に貯め込み、ダム下流の浸水被害の軽減に努めました。

今回の防災操作は、昭和58年4月のダム管理開始以来、最大の防災操作となりました。

\*防災操作とは、ダムに流れ込む洪水の一部(一庫ダムでは洪水量の毎秒150m<sup>3</sup>を超える水量)を貯水池に貯めて、ダム下流の川の増水を緩和する操作を言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値が変わることがあります。



平成25年9月17日

独立行政法人 水資源機構 一庫ダム管理所

発表記者クラブ

川西市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所  
所長代理 安江(やすえ)  
TEL: 072-794-6671 (代表)

ひとくち

## 一庫ダムは管理開始以来、最大の防災操作を実施しました

一庫ダム流域では台風18号の影響により、平成25年9月15日2時頃から雨が降り始め、台風本体の接近に伴い、時間雨量20mm以上の雨が6時間降り続けました。流域の降り始めからの総雨量は293.4mmに達し、一庫ダムでは昭和58年4月の管理開始以来、最大となる流入量、毎秒468.13m<sup>3</sup>を記録しました。

この大雨で、一庫ダムでは、9月15日23時20分に流入量が洪水量(毎秒150m<sup>3</sup>)を超過したことから、防災操作(洪水量を超える量をダムに貯留する操作)を実施し、9月16日4時10分には最大で毎秒319.79m<sup>3</sup>を貯水池に貯め込みました。

### 防災操作の概要

	流域平均総雨量	ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダム流出量	同時刻におけるダム貯留量
一庫ダム	293.4mm	9月16日4時10分	468.13m <sup>3</sup> /s ※1	148.34 m <sup>3</sup> /s	319.79 m <sup>3</sup> /s

※1:一庫ダム管理開始以来、最大のダム流入量を記録

(参考)管理開始(昭和58年4月以降)の最大出水記録

記録年月日(原因)	総雨量	最大流入量
昭和58年(1983)9月(台風10号)	239mm	411m <sup>3</sup> /s
平成16年(2004)10月(台風23号)	207mm	411m <sup>3</sup> /s

今回の防災操作は、ダム管理開始以来、最大の防災操作となりました。

この防災操作により、一庫ダムが無い場合に比べ、下流河川の最高水位を、<sup>ただいん</sup>多田院地点では約87cm、<sup>おおべ</sup>小戸地点では約58cm低減する効果があったと推定されます。

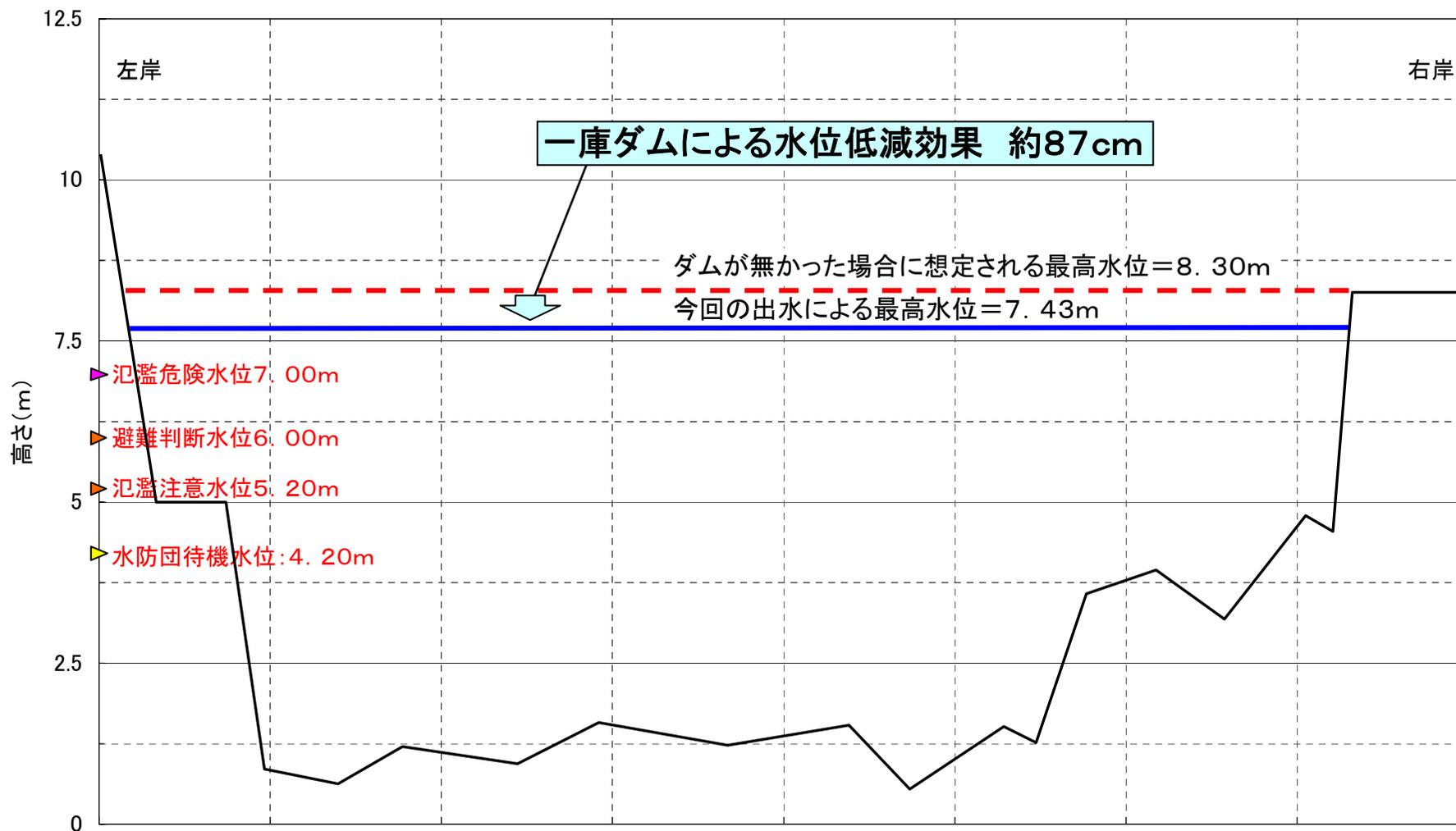
- 一庫ダム流域  
(流域面積=115km<sup>2</sup>)
- 一庫ダム地点~小戸地点流域  
(流域面積=195km<sup>2</sup>)



猪名川流域模式図

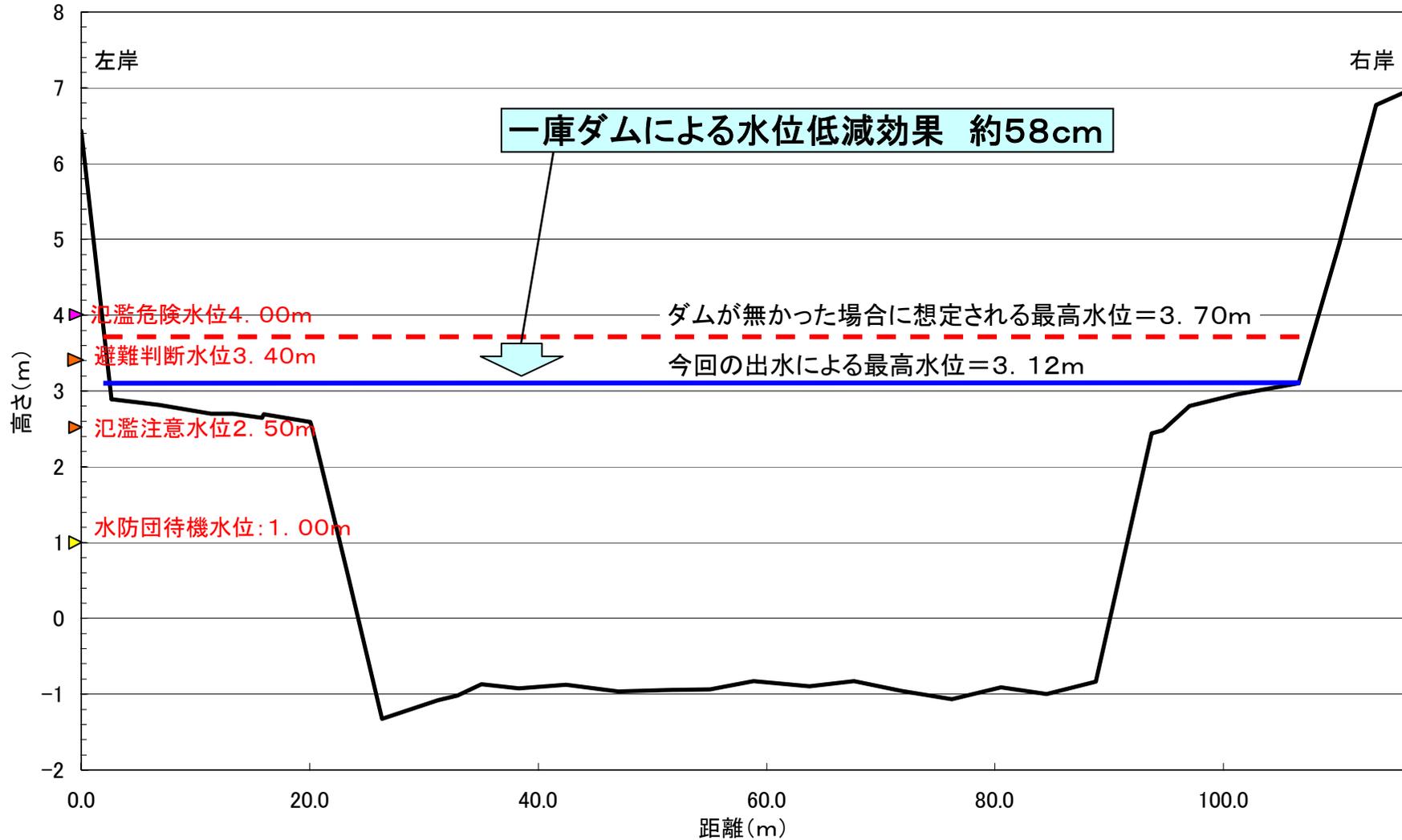
平成25年9月15日～16日 台風18号

## 一庫ダムの防災操作効果(■<sup>ただいん</sup>多田院地点)

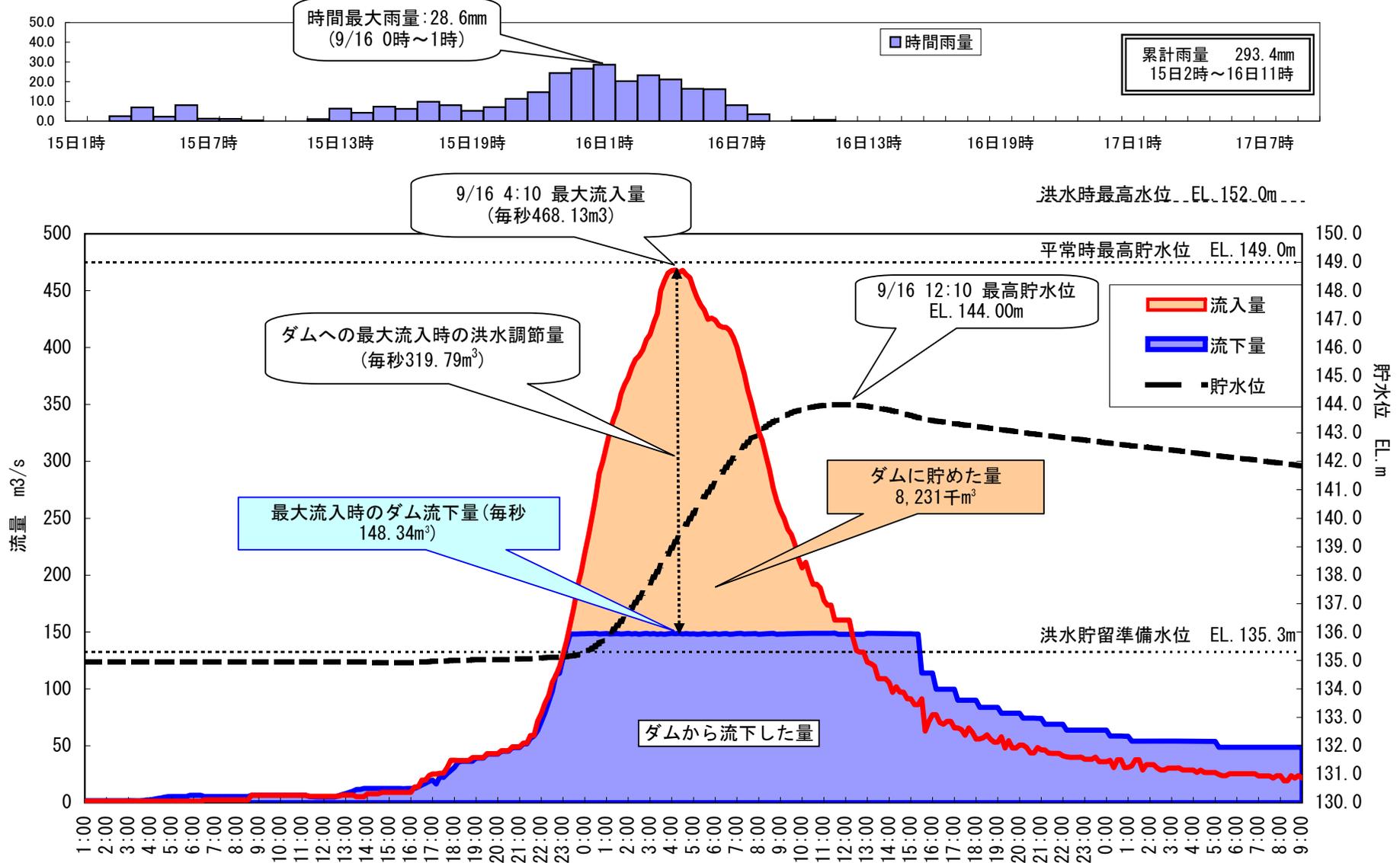


平成25年9月15日～16日 台風18号

# 一庫ダムの防災操作効果( おおべ 小戸地点 )



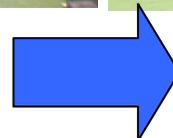
# 平成25年9月15日～16日 台風18号 一庫ダムの防災操作図



# 台風18号による一庫ダムの貯水状況



9月15日18:00の  
貯水位EL135.00m



防災操作後



水位の上昇 約9.00m

9月16日12:00の  
貯水位EL144.00m

9月15日18時～16日12時までの変化量

貯水位上昇量は9.00m

貯水増加量は約 8,152千m<sup>3</sup>